石川県糖尿病療養指導士研究会とは

設立

平成14年4月

目的

- 人材育成
- 啓発活動
- 情報提供
- 社会貢献

会員数

- 336名（登録）

報告者：片田　圭一

目　的

石川県の糖尿病療養指導士の育成および活動支援を行い、糖尿病の適正な療養指導の発展普及を通じ、地域医療に貢献することを目的とする。

組 織 構 成

職　種	世話人会	運営委員会	会 員 数
	代表:西村　泰行	委員長:片田　圭一	合計:336名
医師	12名	4名	-------
看護師	2名	10名	175名
栄養士	0名	4名	59名
薬剤師	1名	2名	24名
検査技師	1名	4名	48名
理学療法士	0名	4名	27名

事　業　内　容

- 糖尿病療養指導士を目指すコメディカルを対象に、糖尿病療養指導に必要なカリキュラムの研究会および講演会を開催する。
- 糖尿病治療について広く市民に啓発を行い地域に還元する。
- 医療従事者への情報提供を目的にホームページを開設、運用する。
- 糖尿病療養指導士を対象に、糖尿病の療養指導のレベルアップを目指し、糖尿病療養指導研修を継続して開催する。

これまでの主な活動

平成14年　4月：石川県糖尿病療養指導士研究会設立、
研修会活動を主に実施

平成14年10月：第1回石川県糖尿病ウォークラリー大会に協力

平成23年10月：県民糖尿病フォーラムで「糖尿病劇場」 を開始

平成29年度の主な活動

事業名	イベント名	参加数	概　要
研修会事業	総会・研修会	121名	テーマ:「災害対策」、2名の講師が講演
	能登地区研修会	52名	テーマ:「糖尿病教室」講演
	症例検討会	30名	症例検討(グループワーク)
	薬局薬剤師向け研修会	34名	講師3名(講演・グループワーク)
啓発事業	糖尿病ウォークラリー大会	152名	辰口丘陵公園で開催
(協力)	市民公開糖尿病劇場	約150名	ホテル金沢で開催
専門領域研修会	看護ケア・管理栄養・運動療法・臨床検査領域の研修会	----------	各専門領域団体と共催
県糖尿病対策推進会議共催事業	糖尿病療養指導研修会 会場: ・金沢大学CPDセンター ・サテライト会場 （加賀、能登に4会場）	106名	研修時間:15時間(5日) 対象:医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士・臨床検査技師等の医療従事者

平成29年度石川県糖尿病療養指導研修制度カリキュラム

開催日	13:10～14:10	14:20～15:20	15:30～16:30
第1回 6月25日	糖尿病とは 医師	糖尿病の歴史 医師	糖尿病検査 臨床検査技師
第2回 8月27日	フレイルを防ぐ 理学療法士	食事の基本 管理栄養士	薬の基本 薬剤師
第3回 10月22日	低血糖 医師	糖質制限 管理栄養士	薬の最近の話題 薬剤師
第4回 12月17日	眼の病気 医師	慢性合併症 医師	動脈硬化症 医師
第5回 2月18日	歯周病 歯科医師	フットケア 看護師	治療の未来 医師

研修会修了者を、「石川糖尿病療養指導士」として認定する。
（石川県医師会・糖尿病対策推進会議）

糖尿病フォーラムで

糖尿病劇場公演や

運動方法を紹介

石川県
糖尿病ウォークラリー大会

平成14年から毎年開催

のべ2372名が参加

青くライトアップされた五十間長屋　＝12日午後6時45分、金沢城公園

流人口の目標数値にするなど設定が不適切だった。このため事業の効果を的確に把握できなくなっていた。

数値目標は適切に設定されていた事業の中でも、事業は目標の全部または一部を達成できていなかった。ほかに8事業は、交付金を支給される2年を終えて「目標年度」とされる3年目でも、資金不足などを理由に、事業計画に盛り込まれたグリーンツーリズムなど個別の取り組み項目のうち半数未満しか実施していなかった。

五十間長屋、包む青の光

国連が定める「世界糖尿病デー」の14日を前に、金沢城公園の石川門と五十間長屋、河北門が12日、糖尿病予防、治療の啓発運動のシンボルカラーである青色の光に包まれた。

ライトアップは、10年目の今年も世界80カ国以上で行われる。金沢城公園は石川県医師会が中心となり、20日まで午後6時半～10時に実施する。

内灘町の金沢医科大臨床研究棟も12日、ライトアップを始めた。日没から午後10時まで入院患者の負担にならないように研究棟に絞って照らす。ライトアップが始まると、河北潟の水面に光が反射した。20日まで点灯される。

糖尿病予防を訴え　金沢城公園

定置網に乗り上げ

ボート航行できず

七尾湾、2人を救助

12日午後7時21分ごろ、七尾市能登島祖母ケ浦港から東北東約4・1キロの海上で、高岡市の会社員京谷勝好さん(62)のプレジャーボート「OCEAN BRIDGEⅢ」（全長約8メートル）が定置網に乗り上げ、航行できなくなったと七尾海上

糖尿病予防や治療劇でわかりやすく

県民フォーラム

糖尿病の予防や治療法について考える「県民糖尿病フォーラムin金沢」が、金沢市堀川新町のホテル金沢であった。

全国糖尿病週間（九～十五日）に合わせて、県糖尿病対策推進会議などが主催した。

県内の医師や看護師、栄養士らが、実際に診察などで聞かれる治療の悩みを寸劇で披露。妻が低カロリーな食事を作っていたが、成人男性の必要カロリーには

診察の様子を演じる医師や看護師ら＝金沢市で

達しておらず、糖尿病の夫が妻に隠れて間食。血糖値がなかなか下がらなかった理由は、夫婦間の対話不足であったという内容で、参加者は大きくうなずきながら観賞していた。

糖尿病を患いながらエアロビック日本代表として活動する大村詠一さんの講演もあり、体に負担をかけない程度に運動を習慣付けてほしいと呼び掛けた。

（蓮野亜耶）

時々

新聞に掲載される。

広域人材育成の利点

- 県内全域で共通の認識を持つ
  ⇒医療機関を変わっても安心
- 治療の方向性が共通
  ⇒治療内容が混乱しない
- 専門職の経験・知識が拡大する
  ⇒他の職場の状況を意識できる

人生は刺激的な方が楽しい！！

ご静聴ありがとうございました。